

地域で支える新潟まつり

白山小・白新中が住吉行列で大活躍

長い歴史を持つ新潟まつりが、平成28年8月6、7日に開かれました。

八番組は本供奉の年に当たり、両日で750名が参加し、猛暑の中、元気に町を練り歩きました。

1キロにも及ぶ住吉行列。参加した八番組の白山小、白新中は、新潟の夏祭りを盛り上げました。

行列1日目は桙谷小路から萬代橋へ、午後は広小路、古町通、白山神社前まで、2日目は上大川前通から湊町通、附船町まで進み、午後は本町通を遡って、白山コミュニティハウスまで歩きました。八番組が今日まで新潟まつりを担ってこれたのは、地域の方々のご尽力、学校関係者のご協力のお蔭です。これからも新潟まつりを引き継いでいきますので、ご協力を願いいたします。

6月 五者全体会議

八番組・白山小先生・ふるさと創造委員・地域コーディネーター・八番組女性部が集合。

祭りが安全に行われるために、熱中症対策、衣装、食事等について話し合いました。

白新中で祭りのデモンストレーションが行われました。



7月 繼と神輿組み立て

八番組まとい組み立て。本番に向け準備が進みます。まとい等の組み立ては白山神社境内で行われ、昔から八番組の手で組み立てられています。



行列巡回開始

雲一つない朝、八番組は発輦祭に出席。その後、八番組町衆・白山小・白新中参加者は木遣りを歌って気勢をあげ、行列がスタートしました。この日の気温は34度でした。

※本供奉：祭り一切を取り仕切る年

※発輦：神輿が神社を出発すること



八番組委員長 藤井 泰介



八番組の委員長として、伝統ある地域の新潟まつりを受け継いでまいりました。白山小の児童、白新中の生徒たちは暑さや足の痛みに負けず、二日間にわたり新潟の町を練り歩きました。この経験により新潟まつりへの理解が深まり、子どもたちの良き思い出になることを願っております。八番組が祭りを安全に行ってこれましたのは、ひとえに地域と学校のつながりの強さがあつてこそと感謝しております。

これからも八番組の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

天災は忘れたころにやってくる

防災訓練

開会式冒頭の言葉を物理学者であり、著名な隨筆家でもあった、寺田寅彦先生の名言として、藤井副会長が紹介されました。

白山校区コミ協では、【災害を忘れない日】として、年に二回の行事を設けています。

※1回目は、6月16日(新潟地震の日)に行われる白山小学校の避難訓練に参加します。(今年度約50名参加)

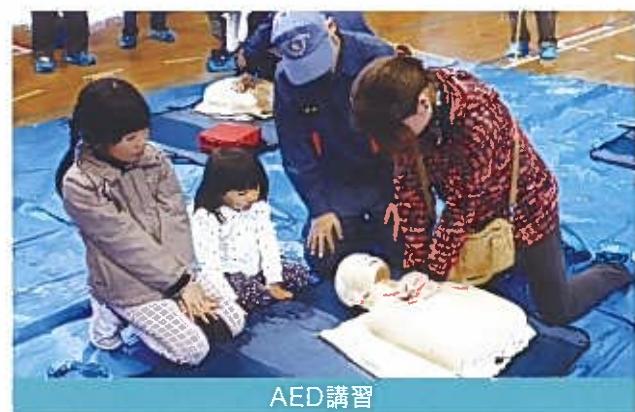
※2回目は10月の防災訓練です。今年度防災訓練は、10月末の気候を考えて体育館で行いました。参加者160名、「区総務課安心安全係」「白山小学校」「市消防署白山浦出張所」「消防団白山分団」「民生児童委員の方々」のご協力と防災委員の皆さんのお力で、無事終わりました。

さて、日常生活では災害のことだけ考えているわけにはいきません。そこで、ご家庭でも「**大災害が、今、起こったらどこに逃げようか**」と考える日を持つべきかがでしょうか。

地震、津波、大火災など、大災害発生を想定し、家族の行動を話し合って危機管理意識を共有してください。



開会式



AED講習



応急手当講習



簡易担架作成講習



間仕切りテント・トイレテント



非常持出セット



炊き出し訓練



非常食品の配布

なお、訓練当日、非常持出、非常用トイレなどを展示しましたが、防災グッズを扱う会社は大変多く購入する時は、よく調べてから購入することをお勧めします。

